

広報広聴常任委員会閉会中の調査について

広報広聴常任委員会委員長 副田悦子

- (1) 日時 令和7年12月23日(火) 午前9時30分～
令和8年1月6日(火) 午前9時30分～
令和8年2月12日(木) 午前9時～
- (2) 場所 東庁舎4階第4委員会室
- (3) 出席者 副田悦子委員長、田中雄二郎副委員長、奥村幹郎委員、曾我部一帆委員、澤田厚委員、東森徹平委員
- (4) 案件
 - ① 議会だよりの編集について
 - ・編集スケジュール、編集の進め方、注意事項について確認
 - ② 行政視察について
 - ・DXやSNSを使った広報また広聴の先進議会をあげ視察の候補とした。
(その後、日程調整があわず、実施はできていない。)
 - ③ 議会だより第85号編集・発行の反省について

今回、氏名の間違いがあったことを受けて、どのように改善すればよいか検討した。委員から出てきた意見をまとめ、下記のように取り組むこととなった。

 - ・初回編集では各議員の質問に関わる原稿（内容も含む）を仕上げた状態にする。
 - 第2回編集ではその他（委員会報告、請願書や意見書など）原稿の編集を完了する。
 - 最終稿前の編集では、修正が全て終わって確認するだけにする。
 - ・各議員に原稿依頼をする際、湖南市議会だより表記申し合わせもあわせて送付する。
 - ・紙ベースで細かい字の確認がしにくいので、データベースとあわせて確認する。
 - ・編集の際、特筆して確認を要する項目をチェックシートにし活用する。
 - ④ 編集のあり方について

議会だよりの目的として、広く市民に議会について知ってもらう、市政に興味関心をもってもらうことを念頭に工夫していくことが肝要である。そのために、紙媒体だけでなくデータベースをQRコードで読み取ってもらう、SNSで発信するなどを検討していくべきである。また、「読む」から「見る」といった視点も必要で、見栄えや見た目も重要となる。同じような内容でもレイアウトや見せ方で変わる。クイズや間違い探し、議員へのひとことアンケートなど遊び心を加味していったらどうか等の意見が出た。今後継続して検討実施していくが、たちまち次のことについて依頼する。

 - ・HPで市の広報のように発行されたという新着情報を出す。
 - ⑤ 配布先について

現在の配布先一覧をもとに、他に配布する場所などについて意見交換をし、
たちは下記のように進めることになった。

- ・事務局の残数を見ながら、小中学校等への配布の検討を進める。